

2月

3月

丸亀市立中央図書館だより No.290

図書館おすすめの本

〒763-0022 丸亀市浜町 80 番地 1

TEL 0877-22-3746

大人の本

『どうぶつ寝顔図鑑』

茜 灯里/監修 オレンジページ出版 480ド

まだまだ寒い季節、起床時間になってもあたたかい布団の中から出たくないですね。どうぶつたちは部屋の中でも、草原の上でも、木の上でも、そして雪が積もる屋外でも…寝てます。

そんなどうぶつたちの寝息が聞こえそうな写真を集めた1冊。

何度みても、こちらが眠くなりますよ。



『本の話はどこまでも』

青山 美智子/語り手 根津 香菜子/聞き手 朝日新聞出版 910. 2ア

「お探し物は図書室まで」や、「月の立つ林で」などを執筆された青山美智子さんが、幼少期に読んだ本や、人生最後に読みたい本、「本を書く」ということ、本屋大賞への思い…いろんな角度から「本」について思いを述べられています。過去には図書館で勤務されていた、エピソードも収録されており、自分では気付くことのできない視点から図書館の魅力を感じることができました。

青山さんが心から本好きなのが伝わってくるとともに、本が好きな人なら必ず共感できる1冊となっています。



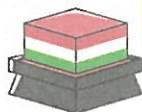
こどもの本

『おやつつきかんしゃ』

久保田 寛子/作 あかね書房 Eク

ネコさんは、そらからおちてきたおおきなドーナツをひろいました。やまのうえには、ドーナツえきがあり、ネコさんは、しゃしょうさんにドーナツをわたしました。すると、うんてんしさんにかもつれっしゃにのってもらえませんか？とたのまれたネコさんは…。

つづきは、えほんをよんでみてね。



『わたしとわたし』

五味 太郎/作 福音館書店 Eゴ

わたしのなかのもうひとりの、わたし。それぞれのおもいが身近な場面で対照的に描かれ、ストーリーが進んでいきます。大人になって読んでも、【わたし】そして【だれか】のおもいにふと気づきたくなるそんな素敵な絵本です。ひとりよみを始めた、お子さんにもおすすめ。

(かがくのとも絵本(2018年発行)が今回、復刻ハードカバー化されました。)



『やさしさバトン』

新井 けいこ/作 あわい/絵 岩崎書店 913ア

小学四年生の有咲は何事も損得で考えがちでした。ある日、友人たちと職場体験に参加し、目の不自由なまきちゃんと出会い、大切なバトンを受け取ります。様々な交流の中で、やさしさを受け渡していくと、みんなが幸せになることに気がきます。

寒い冬にぴったりの心温まるやさしい物語です。年齢を問わず読んでいただきたい一冊です。

開館時間：平日…午前9時30分～午後8時／土・日…午前9時30分～午後5時【はお休みです】